

※TUジュニアレター「おしえて、テニス君」は、テニスのことをもっと知ること、子どもたちのやる気に火をつける情報発信ツールです。



グランドスラム編

グランドスラム とは「4大大会」と呼ばれ、世界中で行われる大会の中で最も大きな大会です。それぞれ違うコートの上で戦うことで、選手の持っている能力が試され、またいろんなエピソードがうまれてきました。

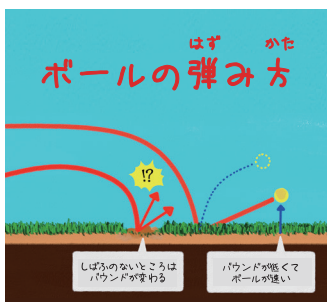


■ グランドスラムの開催国



ウィンブルドンってどんなコートなの?

ウィンブルドンは **天然の芝生** のコートで戦うんだけど、ボールは弾まないから、低い姿勢で素早く反応する必要があるんだよね。サーブの速い選手、ボレーが得意な選手はとて有利なコートになるぞ! それから大会が進んでいくと、芝生がはがれてコートがデコボコになるから、ボールが変な方向に弾んだり、足が滑って転んだり、その1ポイントでチャンスを出すこともあるから大変なんだ。何が起るか分からないから見逃さないよね。



芝生の長さは「8ミリ」きっかり

ウィンブルドン選手権はコートの上で戦うんだけど、**芝刈り機が壊れて**、それを買うお金を集めるために1877年7月(142年前)に開かれました。大会でつかわれるコートは20面。今でもこの日の大会のために多くの人たちが丁寧に芝生の手入れをしています。



歴史に残る名場面 ~男子シングルス。3日がかかりで決着~

それは、2010年のウィンブルドン選手権、男子シングルス1回戦ジョン・イスナー(アメリカ)対ニコラス・マユ(フランス)の試合のこと。大会は日が暮れると次の日に続きをやることになってるんだよね。しかも、最後は2ゲーム差をつけなくてはならないから、結局スコアは、6-4、3-6、6-7、7-6、70-68。なんと、**3日間**かけて、時間でいうと11時間5分でやっと決着がついた! 試合が終わるとふたりはお互いの健闘をたたえて、見ていた人もみんな立ちあがってコートは大きな拍手でつつまれたんだ。

これまでの優勝者

【男子】

【女子】

2016	アンディ・マレー (イギリス)	セリーナ・ウィリアムズ (アメリカ)
2017	ロジャー・フェデラー (スイス)	ガルビネ・ムグルサ (スペイン)
2018	ノバク・ジョコビッチ (セルビア)	アンゲリク・ケルバー (ドイツ)
2019	・・・?	・・・?

ウィンブルドンではフェデラーがいままでで1番多く優勝していて、その数なんと8回! 錦織圭は前回ベスト8で、他にも予選では、**日本人選手の活躍**にも期待です。



ウィンブルドン選手権 2019

- 日程: **7/1 (月) ~ 7/14 (日)**
- 予選は6/24 (月) ~ 27 (木)
- 場所: イギリス、ロンドン
- サーフェス: グラスコート (天然芝)
- 優勝賞金: 235万ポンド (約3億4000万円)
- ウィンブルドン選手権2019はNHK、wowowで放送予定。



※日本との時差は8時間。(日本時間の方が8時間進んでいるよ) 試合は夜おそくに放送されることも。おうちの人と相談して応援しよう!

★次のグランドスラムは**US(全米)オープン(8/26~9/8)**が行われるよ。詳しくは次号「おしえて、テニス君」Vol.3をお楽しみにネ!!

